

京都市醍醐交流会館コンソーシアム
代表者 京都醍醐センター株式会社
代表取締役 平井 義也

令和2年度 京都市醍醐交流会館事業報告書

京都市醍醐交流会館の管理に関する協定書第5条1項に基づき、
令和2年度の事業報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 利用実績（別紙1）
- 2 執行報告書（別紙2）
- 3 利用者の満足度やニーズの状況（別紙3）
- 4 管理業務の自己評価（別紙4）

京都市醍醐交流会館 令和2年度 実績報告(2020年4月1日～2021年3月31日)

1、施設利用率(区分稼働率、日数利用率)

施設名称	区分稼働率	前年度同期比	日数利用率	前年度同期比
ホール	33.4%	-6.6pt	51.6%	-5.5pt
第1・2会議室	44.2%	-5.1pt	79.0%	-7.9pt
第1会議室	49.0%	-6.0pt	83.8%	-8.9pt
第2会議室	39.5%	-4.2pt	74.3%	-6.7pt
第3会議室	31.5%	-17.1pt	64.1%	-18.6pt
和室A・B	43.3%	-18.9pt	77.3%	-16.3pt
和室A	37.3%	-21.3pt	70.1%	-20.7pt
和室B	49.3%	-16.4pt	84.5%	-11.9pt
音楽スタジオ	42.5%	-12.8pt	78.9%	-10.8pt
合計	40.5%	-12.2pt	72.8%	-12.1pt

2、収納金額及び還付対象金額(令和3年5月22日現在)

施設名	合計(単位:円)		前年度比 (還付額差引後)
ホール 使用料	収納額	2,837,210	82.4%
	還付額	390,140	
第1～3会議室 使用料	収納額	4,348,930	94.8%
	還付額	387,630	
和室A・B 使用料	収納額	922,140	68.1%
	還付額	70,630	
音楽スタジオ 使用料	収納額	991,870	75.5%
	還付額	48,150	
付属設備 使用料	収納額	1,591,420	81.4%
	還付額	0	
収納金額 小計		10,691,570	44.7%
還付金額 小計		896,550	
合計	収納額 (還付額差引後)	9,795,020	75.4%

令和2年4月8日17時～令和2年5月31日 閉館
 令和3年1月14日～令和3年2月28日 20時閉館
 令和3年4月12日～令和3年5月31日 閉館
 上記の期間内において、施設利用の影響を受けた申請・使用取消となった申請について、使用料が還付されています。

(参考)過去3年間における施設利用率(区分稼働率及び日数利用率)、収納金額の推移

年度	区分稼働率	前年度比	日数利用率	前年度比	収納金額			前年度比 (A比)
					収納金額 (A)	還付金額 (B)	当初収納額 (A+B)	
令和元年度	52.7%	-0.6pt	84.9%	-0.8pt	¥12,983,780	¥2,376,480	¥15,360,260	79.8%
平成30年度	53.3%	-1.7pt	85.7%	-3.7pt	¥16,261,890	¥6,070	¥16,267,960	97.1%
平成29年度	55.0%	0.7pt	89.4%	2.9pt	¥16,746,200	¥0	¥16,746,200	99.2%

京都市醍醐交流会館
令和2年度 執行報告書

受任金額 金58,564,815円
執行金額 金53,044,259円
差引額 金 5,520,556円

執行内訳

単位:円

項目	予算額	執行額	備考
管理運営費	16,000,000	16,881,265	シルバー人件費、DC人件費
警備保安費	450,000	434,100	防犯・防災警備、館内巡回、ITV等監視
設備管理費	14,000,000	13,819,494	設備保守、ホール等照明・音響運営委託等
設備保守修理費	3,400,000	1,854,800	設備補修修繕、施設整備保守管理等
環境衛生費	7,300,000	7,957,428	清掃費、ごみ処理費
広告宣伝・啓発費	200,000	0	ホームページ更新
賃借料	500,000	265,200	コピー、グリーンリース
光熱水費	9,000,000	5,548,069	電気・水道・ガス
諸雑費	2,390,741	1,461,698	管理事務費、消耗品費、通信費、リース料等
小計	53,240,741	48,222,054	
消費税(10%)	5,324,074	4,822,205	
合計	58,564,815	53,044,259	

京都市醍醐交流会館 利用者の満足度やニーズの状況

1 利用者満足度の把握状況

事業参加者に対するアンケートのほか、受付窓口等においても要望を確認するなど意見集約を随時実施している。

【回答数】 72.7%

2 利用者満足度把握の結果

(1) 事業参加者アンケート

事業内容に関しては、各事業について概ね好評価をいただき、事業の継続実施及び更なる充実を希望する声が大半である。

(2) 施設利用に関する要望

ア 老朽化している備品の更新を望む声が多い。

イ 緊急事態宣言下においても、感染予防対策を講じながらの施設利用の要望がある。

3 意見等への主な対応状況

備品については、利用頻度及び使用状況を把握したうえで、適切に更新が進められるよう関係部署に働きかけている。

京都市醍醐交流会館 管理業務の自己評価

- 1 時代の需要に即した適応力と対応力のある施設運営を目指している。
- 2 少子高齢化に伴う利用状況の変化が顕著となっている状況を踏まえ、世代間の交流を促進し、多くの世代が集える自主事業の企画立案を進めている。
- 3 施設や備品については、適正に維持管理するよう心掛けている。
- 4 施設の利用状況（施設日数利用率）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも継続的な利用に対するサポートや新たな利用の獲得に努め、減少を最小限に留めていると認識している。
引き続き、当施設が、多くの方の交流を促進する場としてご利用いただける公共施設になるよう努めている。